

千葉県社会福祉事業団による千葉県袖ヶ浦福祉センターにおける虐待事件問題、
同事業団のあり方及び同センターのあり方について 最終報告（答申）【構成】案

平成 26 年 8 月

千葉県社会福祉審議会千葉県社会福祉事業団問題等第三者検証委員会

- 1 検証に至る経緯
- 2 検証の方法
- 3 検証経過
- 4 中間報告から最終報告（答申）へ
- 5 センターの当面の運営について
- 6 県の立入検査による主な事実認定について
- 7 検証結果（問題点）及びあるべき姿、方向性

I なぜ虐待（暴行）が行われていたのか。

- 1 人材育成や研修、職場環境、職員配置
 - （1）職員の資質や職場環境の問題
 - （2）職員配置の問題
- 2 幹部の管理体制、虐待防止体制・事故等に関する情報共有
 - （1）幹部の資質・能力、管理体制の問題
 - （2）虐待防止体制の整備・運用の問題
 - （3）事故等に関する情報共有の問題
- 3 外部チェック体制、県のチェック体制
 - ・ 監査・モニタリングの問題（監査担当者ヒアリング結果の検証）

II なぜ受診が遅れたのか。（今回の死亡事件関係）

- 1 医療支援体制の問題
- 2 職員間の情報共有の問題

Ⅲ 事件後の対応は適切か。

- 1 保護者及び事業者の転所に関する意向確認
 - (1) 保護者の意向（アンケート結果の検証）
 - (2) 事業者の意向（アンケート結果の検証）
- 2 利用者への対応
 - ・ パーソナルサポーターの派遣・業務内容
 - ・ 知的協応援職員の派遣・業務内容
- 3 保護者への説明・情報提供
 - ・ 保護者説明会開催状況・主な意見

Ⅳ 県の勧告や中間報告を受けての改善は進んでいるか。

Ⅴ センターは今後どうあるべきか。

- 1 これまでのセンターの位置付け及び平成 15 年以降の事業団の見直しについて
 - (1) 事業団の見直しの経過
 - ・ 県が掲げたセンターの役割
 - ・ 平成 15 年の公社等外郭団体の見直し方針
 - ・ 強度行動障害支援事業の開始
 - ・ センターの定員数の減少（地域移行の推進）
 - ・ 指定管理者制度の開始
 - ・ 事業団自主事業の展開
 - (2) 事業団の現状及び見直しによる影響
 - ・ 役割の達成、強度行動障害支援のノウハウの提供（アンケート結果の検証）
- 2 今後のセンターのあり方（見直しの方向性）について
 - (1) 今後の養育園及び更生園のあり方について
 - (2) 今後の養育園及び更生園の管理運営（指定管理者制度等）のあり方について
 - (3) 今後の千葉県社会福祉事業団のあり方について
 - (4) 県や外部による重層的なチェックシステムの構築について